夕刊
磐城新聞
五月十九日發行
發行所　磐城新聞合資社
(日曜祭日翌日休刊)

片目の魚
勢至丸の幼時
鈴木積善

(二)

里の人々はこの不思議な出來事を知りますと。

『何といふおめでたいことではないか、先日、時國公のお邸で奇瑞があつたのはあれは男のお子様がお生れになつた爲めだそうだ、其のお坊様は吃度立派なお方になられるに違ひない』

『本當にためでたいことだ其れは殿樣のお幸福ばかりでなく、我々里の者達の名譽といふものだ』

こんな話が各所で交はされました。そして其のお坊樣の名前は勢至丸とつけられました。勢至丸といふのは大變智慧のすぐれてゐる佛樣のお名號です。

勢至丸はグン〳〵と大きくなりました。お友達と遊ぶやうになりますと。

『君誰一番好き?』

『僕勢至丸樣大好きだ』

『僕もそうだ、勢至丸樣はとても元氣で優しいんだもの』

『ウンさうだ、勢至丸さんは本當に親切だが、そればかりぢやないよ、讀方でも算盤でも素敵に出來るんだこないだの書取なんか皆んな間違つたのに勢至丸さんだけに二重丸の賞點さ。』

『勢至丸さんは讀方でも算盤でも何でも出來るんだが一番得意なのは弓遊びさ』

『そうだそうだ、こないだの競技の時も、普通の的は全部黒星に中てて、其の上に小さい金的射までも一等賞だつたよ』

『あの君には何としても敵はないんだが、一つだけ面白い癖があるね』

『何、癖があるつて?』

『アラ、君知らないの、そうら、何時かもあつたらう、あの竹馬乘りして遊んでた時さ、勢至丸さんの姿が急に見えなくなつちつやつた、皆んなして探して見たらお庭の隅の方で、西の方を向いて何だか一人で拜んでゐたらう』

『ア、そう〳〵、西の方を向いて拜むのは本當に常住だネ』。

勢至丸さんは、元氣でやさしくて、學問も出來るのでお友達からは大變好かれました。其して、他の子供達と變つてたことは西の方を向いて紅葉のやうな手を合せて拜むといふことでした。そして弓遊びの上手なことは、お父樣の時國も大變にお喜びになられ、

『弓矢の道は男子には非常に大切であるが矢鱈に小鳥などを射つてはならない。何時でも身を守り惡い者を懲らす爲めの道であることを忘れてはならない』

とお話になられました。

かやうにして勢至丸はお父樣とお母樣とに可愛がられ、お友達からは好かれ、里の人々からは敬はれて毎日樂しい日を送つて居りました。けれども花に嵐があるように何時もよい事ばかりは續きませんでした。勢至丸の九歳の時それは大變な事件が起りました。

お父樣の時國は大變お偉い方ではありましたが、お家が天子樣の御血統だといふ所から慢心がありまし

稻岡の庄の預所をしてゐる定明といふ上役のお侍さんの命令にもよく從はないことがありました。それで定明は自分を侮辱つてゐるといふので時國を非常に怨んでゐました。

或る春の朧月夜のことでした。

『パッカ〳〵〳〵』と馬の足音勇しく甲冑に身を固めた侍さんが、大勢『ワーー』とときの聲をあげて時國の館へと攻め寄せました。館の前まで來ると一同は馬からヒラリと飛び降りて門内へ雪崩込ふとしましたが、門の戸が固く閉つてゐるので入ることが出來ません。すると

『此處が我が敵の時國の館だ、怨みを果すはこの時である決して粗忽して敵の大將を打ち逃がしてはならぬぞ』

と、大將らしい侍が大聲を張り上げて叫びますと、一同は

『それはよく承知でござる……サア一刻も早く突入しよう!』

と、石をゴッンゴッンと打ち突けて、門をコヂ開けてドッ!とお庭の中へ亂入しました。

時代警語

○朝三暮四……(莊子)

親猿、子猿に向つて汝等に今日より橡の實を朝に三を與へて暮に四を與へんと云へば子猿ら皆怒る、然らば朝に四を與へて暮に三つ與へんと云へば子猿ら皆喜んだとの事である、世上之に類する錯覺の喜悲幾千ぞ

隨想 後姿 —(上)—
小濱牧泉

女はこう言ふのだ。涙に濡れて、眞實侘びしげに!

『年さい少さければ直ぐおたしブロポーズしてよ、でも、でも駄目、それにあたしはキリストの洗禮を受けてしまつた。世間がある家がある、あたしはほかにあたしの道を見つけなけりやならないわ』

◇

白いばらの木輪の樣な女だつた。そうだ、雪が降つてゐた。東京の空は重たく煙つてゐた。僕は始めて逢つた女性のこのい態(?)をむしろなぐりつけたい嫌惡を持つて見詰めてゐた。歌人であつたその女と並木秋人氏を訪ねる爲にと又都會的に洗錬されてゐる女性の明朗そのものの如き會話へあこがれと未知の魅力の爲にその女をおとづれたのであつたが、女の熱情は火と燃えて僕に迫つて來た。それがゐて妙に一歩前に立止まらうともがいてゐるのだ

◇

『ちつともうちとけて下さらないのね!』呟く樣にさう言つて女は去つて行つた。腰のだぶついた、妙にたよりのない女の後ろ姿が松のかげにかくれやうとする時、僕は泌々泣けて來たのだつた。遠くから『丈夫でゐりや又逢へるから』と呼びかけたのに、ふり向かずに去つて行つた女の後ろ姿、そのボッブがふさ〳〵ゆれてゐるさままで、女の後ろ姿はいみじくも僕を今でも苦笑以外の何物でもない甘い追憶の涙にひたらせるのである。今年一月女は結婚して小林と改姓しましたと言つてよこした。その時も僕はゆくりなくも女の後ろ姿を憶ひ出してしまつたのだ。

◇

女も泣かなかつた。僕も泣かなかつた。だが女は僕に妙にエキゾチックに迫らうとしてゐる。海だつた。僕の村の海と違つて此の海は物凄い迄に荒れてゐた。奔馬の樣に激浪は岩をかみ砂を嚙み春の空氣さへも咬んでゐた。

拈華微笑

現在米増加。食い意地が張つてるやうだが心强い氣がする

◇

仲まの家遺族にガソリンを補給せんとする健氣な自動車屋さん

◇

姙娠と前借で自殺を決意、恁麼のが何人あるか　ゾッとする話だ

◇

四錢で上京計劃まりきりの薩摩守より罪淺いか

◇

口の税金。平局の市外通話料が減つた

○……○

社會の今日

○

初夏や大利根下る酒船の帆のさゆらぎも心地よき朝　佐々木信綱

村の口飯屋の軒の燕の子　朝冷

5月20日　△コロンブス逝く(一、五〇六)△雲井龍雄捕へらる(明治二)△獨墺伊三國同盟成る(一、八二八)八四、一六事件豫審終結決定△再建日本共産黨事件記事解禁さる(昭和六)

講談 お蘭陀お蝶 (33)
渡邊默禪作　布施長春畫

今日ぞ好き機會、一覧したいと思つたが物が物である、已れの品位を省るとまさかにさるはしたない所望もされまい、それにその室はみだりに客を入れないといふ事を耳にしてゐるのでどうかと危ぶみながらも見られないものは見たいの喩近習の宅兵衛に囁くと、ぐつと呑み込んで通詞に相談した、通詞はかしこまつて一人の黒人に言ひ含めかはやに上る狀を見せて長七郎殿をその室へ導かせた。

折柄外は凄まじい風雨である。

長七郎殿は黒人の跡について長い廊下を奥へ奥へと進んだ。

『コリヤ〳〵クロンボどやら、其方は大和言葉を心得居るかどうじや』

『ヘッ、私し少々解る丸山遊女、此の屋敷へ來る皆々敎へる、いとしい主さん、好かぬ甚助、雪はちら〳〵敵はとう　、よしこのなんだい、こしやら〳〵』

『ハ、ア、よう覺えやつた故郷は天竺國ぢやと申すが嘸なつかしいことでがなあらうの』

『へ、砂糖甘い〳〵、夏暑い〳〵』

『ハ、なんと申すことやらとんと小兒のやうぢや』

『ちやがたら、ばつたら、おらんだ、はらんだ、ぼてぎやあ〳〵』

『ハ、、、きさんじな奴ぢやわい』

笑聲の下に黒人は、とある室の扉を明けた。長七郎殿は續いて這入つた。

疊ならば十疊程のブライヴエート、ルームである。横手の一方は海に向つた窓で正面に大きな姿見鏡を飾りつけ、その左右に硝子造りの燭臺を置いてある。

なげしにかけた油畫は大洋の景色と誰やらの肖像ドにソファを一脚据えたのが先づ眼についた。

長七郎殿は窓の下に立つた。

此處は二階であるので舊ならば灣内の翠黛波を一眼に見下されるのだ、時しも生憎の暴風雨ごうと闇に鳴る風につれて、窓の戸ががたんびしん、ざゝつと慌てた棘つた音がする、その變にザアと激しく叩きつける雨の飛沫が鈴なりの珠となつて硝子の上をころ〳〵轉り落ちるのが、黒人の手にかざした灯りで朧に見えた

『いづれちや、その人形は』

長七郎殿は室内を見廻はした。

『是れ、是れ、此處おざる』

黒人は鏡と並んだ黒檀のスタンド近くによつて、びろうど縫の上掛をぐいと取ると、硝子張りの箱の中に果して四つの裸体像があつた。

『おゝ是れ』

か好奇の眼を瞬つて

『いかさま巧みなものぢやさながら活けるやうな……ふむ……』

感嘆しつつ飽かず見恍れた。

黒人の持つたローソクの火は、窓の隙間を洩れて來る風の煽りを喰つて危く消えんとしたが忽ち、シューといふ微かな響を炎と共に吹きなびかした。

戸外にはどどつと凄まじい海鳴りが聞える天地晦冥あらゆるものが闇をみだして吼え狂ふ、途端に黒人ば

『きやッ』

と叫んで横さまに轉かつた。

『やつ……』

長七郎殿は佩刀に右手をかけてたぢ〳〵と後へ蹌いた。

『さては己れ、迷ひおつたな、余に何の怨み!が、無禮者奴!退り居らうぞッ』

ラヂオ
二十日(金曜)　仙臺 JOHK

△前六、三〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇　料理献立(蓮根の甘酢煮)中村光
日用品値段(雜穀るい)
△一〇、三〇　家庭講座(敎育者の立場から世の母親へ御願ひ)東京洗足小學校長前田若尾
△正午A　時報
△後〇、〇五　新日本音樂(一、櫻　二、高麗の春)
△〇、四〇A　ニュース　氣象
△一、一〇　六、〇〇A　運動競技(六大學野球リーグ戰試合狀況…豫備日)
△二、〇〇A　婦人講座　女子高等師範學校敎授高橋惣三(右野球放送なき場合)
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇(子供の時間)お話(滿洲に於ける實戰談)歩兵第四聯隊附陸軍歩兵少佐鹿野新一郎
△六、三〇A　英語講座(初等科)岡倉由三郎
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇F　講演(第三艦隊とその特別陸戰隊)海軍大佐一色建之助
△八、〇〇B　義太夫(伽羅先代萩…政岡忠義の段)豐竹昇之助
△八、五〇A　連續講談(大岡政談白子屋騷動)西尾麟慶
△九、三〇A　時報
△九、三一C　奉天より
△九、四〇A　ニュース　氣象

○千葉省三氏　童話集『怨坊主』(東京、古今書院發行、價九十錢)=マルトモ書店にて取次ぎます。

廣告

平町南町
耳鼻咽喉 増田醫院
電話　四八二番

平町六丁目
木村醫院
電話　三〇九番

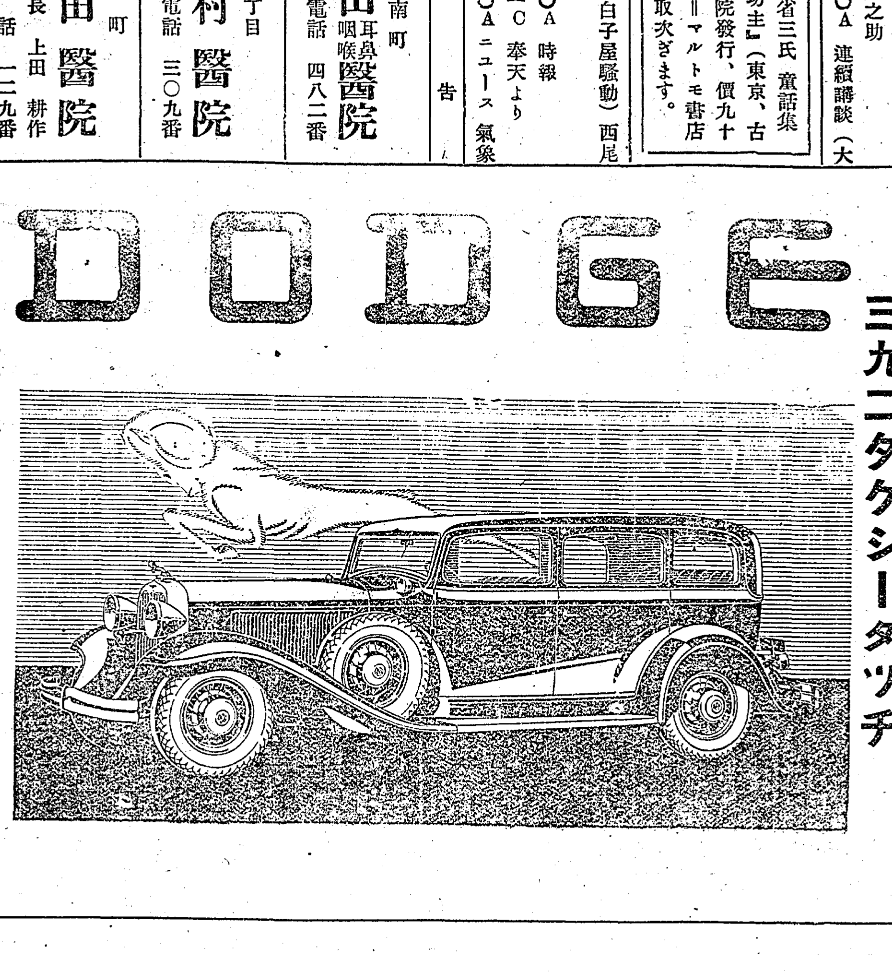
平南町
上田醫院
院長　上田耕作
電話　一二九番

安齋外科醫院
平町田町
電四七五番

日本で(一番最大最良)の火災保險
東京海上
一、火事は何時何處で起るかわかりません
一、保險をつける事は災害の起つたとき確實にしかも迅速に保險金の取れる會社に限ります
一、東京海上は如何なる大火の時も又如何なる大きな金額でも直ちに支拂をする準備が出來て居ります。
一、東京の大震災の時自力を以つて火災保險を支拂つたのは東京海上只一つであります
一、保險をつけるなら　日本一否世界屈指の確實な東京海上を擇ぶことが安全第一であります
東京海上火災保險株式會社　平代理店
阿部石炭商店
阿部政右衛門
電話　三七番

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

新車御披露
御國の爲の三勇士　三九二タクシー客の爲
獅子吼の勢で眞先に亦も高級車着荷
一九三二年最新型高級車
ダッチブラザース號ウルトラセダン
最非御愛乘願ます……。
斯界のナンバーワンは
三九二タクシーダッヂ



平町一丁目　三九二タクシー
電話　三九二　四四九番

産科　婦人科　花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井阪醫院
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番

度量衡。計量器。吸入用酸素。酸素吸入器。
關内藥局
電話四〇番

吉田眼科病院
平町紺屋町

初夏 濃艶な芳香の裡に運ばれ來る明朗さ
女性美しきシーヅン來る

平館の、世界館のタイトルがパッと明るく、クライマックスに入らんとして一と息入れる瞬間に於て、驛の待合室に於て、さては乘合自動車待つ間も女は素早くコンパクトを出して頬を叩く。銀行の四つ角邊り短いスカートの裾を勢ひよく蹴つて往き交ふ男性を睥睨しつつ大地を踏むフラッパーも、矢張り女は女であるものを、新緑に風薫る初夏は、金魚賣りの聲の澄む時であり、若き女の化粧の季ではある。

×

かの女のハンドバックの中には化粧崩れの修繕用コンパクトがちやんと忍ばせてあるのだ。昨今の暑さにはどうしても汗が流れる、折角白粉と紅で皮膚の上に描いた美人畫?は無殘にも雨の漏つた壁のやうに汚點が附く、ハンカチで汗を拭くと美人畫がはげる。そこで慌てゝコンパクト――初夏からま夏へかけての化粧が現代婦人の重要な日課として强ひらるる理由が頷かれる。

×

鳥類は雌よりも雄がおしやれで雉や山鳥の雄は雌よりも遙かに美しく着飾つてゐる。孔雀のあの絢爛たる尾羽根は雌には無い。

人間の方は如何なる伊達者もおしやれの點では到底雌――いや女性には及ばない彼女らが菊石をカムフラジする紅白粉に、ふるひ着き度い曲線美を踊らすうすものに總有る姿態を演出する時、哀れなる雄――ではない、男性は八十錢のストロハットが關の山、何と月鼈霄壤の隔りよ!。

×

エヂプトのナイル河沿岸地方では既に五千年前に勝れた化粧法が發達してゐた文化が衰退の傾向を以て來ると種々の理由から化粧に對する熱心さを持たなくなつて來ると云はれるが平女性の化粧に對する關心は初夏からま夏へと拍車されて行く。初夏のパイオニア、女!化粧!いとも明朗なる平町の初夏よ、女の美しい平町の初夏よ!。

在米七萬五千石
商人の賣り惜みから 前年より千五百石增加

穀物檢査所平支所管內五月一日現在の在米高は

地主持米	一〇、五八五石
生産者同	五六、五三九
公共團体	一、一五二
商人	六、一七六
合計	七四、四五二石

で之れを昨年同期の

地主持米	一七、四一八石
生産者	五〇、二三四
商人	五、三一六
合計	七二、九六八石

に比し千四百八十四石を增加して居るが之れは商人が今後米價の漸騰を見越して持米を賣り惜み一方他方面から俵米を移入した結果であると觀られて居る

鰹群來未だし
野島沖で探漁中の 磐城丸無電報告

縣指導船磐城丸は去る十五日小名濱出港目下千葉縣野島岬沖合で探漁中であるが昨十八日午後六時半水産試驗場へ目下の處魚影を認めざる旨極めて手持ち無沙汰の無電あつた、因に過船來淺野造船所に於て建造中の新磐城丸は七月十日頃竣功の豫定であると

海軍志願合格者
濱三郡で三十四名 來卅一日平驛出發

過般平町第三小學校で執行した今年度海兵志願合格者(水兵)佐藤祐吉(平)渡邊弘美(平)岡部武雄(磐崎)渡邊亨(草野)(機關兵)草野茂(大野)村上善治(下小川)坂本喜一郎(四倉)根本〆男(下小川)木田憲德(好間)(主計兵)小野芳正(磐崎)

以上十名及双葉郡八名、相馬郡十六名合計三十四名の一行は三十日午後四時迄平町役場に集合點檢の上住吉屋支店に一泊後翌三十一日午前七時五分平驛發で入團する事に決定した

關西の旅から
磐中見學團通信 (7)

―(第六信の續き)―

やがて十時少し過ぎ畝傍山に到着。橿原神宮は參道が石を一つ〳〵集めて來たやうにきれいで建築はまだ新しい、やがて十一時半橿原を發して十一時半頃から約二時間電車にて宇治山田に向ふ、宇治山田についてから外宮參拜日本特有の建築で皆木造りだ。外宮も嚴かだが內宮に着すれば白木の橋に白木の門五十鈴川の清流、ちり一つなくきれいに敷きつめた石の上を歩むことしばらく〳〵內宮に達す鬱蒼とした樹木亦一段の光彩を添へるものである、此處より亦電車で二見ケ浦に向ふ、行つて

夫婦岩 は遠くにあるんだらうと望みて見れど無し、驚いて見るとちつき傍にあつたのには亦驚かされた。こゝで約一時間休憩二見ケ浦の景を賞し十分に休んで六時五十九分の列車に乘りいよ〳〵歸途東京に向つた(長久保生)

―(第七信)―

(二見……平)十四日

◇あの樂しい修學旅行も今日が最終日であるかと思へば一沫の哀愁がひし〳〵と身にせまつて來ます。けれども一週間も故鄕を離れて居ますので我々は反面に故鄕懷しの念にかられて一分一秒でもよい、早く歸りたいといふ歸鄕の念にかられたのでした

◇汽車は我々を乘せて二見驛を出發しました。山田で廣島師範生と某女學生とが乘り車中は非常ににぎやかとなり、前日の疲れも忘れたやうでした。しかし睡眠が不足してゐるので何時しかうと〳〵と眠りに入つてしまひました。出發の時には眠られぬと言つたのが

◇歸りには正反對の現象を呈したわけです。しかし熟睡ではない淺い眠りで、眠つては起き起きては眠るといふやうな事を何度もくり返して一夜を過したのでした。明け方に遙か遠方に富士山の雄姿に接しました富士山は未だ雪を戴いて雄々しく、あくまでも男性的に聳えてゐました

◇丁度我々が小さい時見た繪に書いた富士そつくりでした。

濱三郡中等學校柔道 瀬踏みの試合
廿二日双中で開催

濱三郡中等學校では八月一日磐中に開催される柔道大會の前哨戰として二十二日午前十時より双葉中學校に於て相馬、双葉、磐城各中學、相馬農蠶、平商以上五校の爭霸戰を行ふが過般來猛練習中の磐中は當日の首位を爭ひ平商も亦相當の處まで力戰するものと觀られてゐる磐中の選手次の如く平商も一兩日中に決定すると

五年(初段)坂本文彥、(一級)吉田遠平、猪狩不二雄、遠藤角之助、矢島久司、草野一郎、四年(三級)岡部文平、鈴木英雄林武義

磐中バ球軍勝つ

磐中生A對第一職員、磐中生B對第二職員對バスケットボール試合は昨十八日午後三時から第二校庭で行つたが第一は三五對六、第二は二二對一六で何れも磐中軍が勝ち四時近く終了

磐中校外監督

磐中監督部では汽車通學生を調査し各方部の五年生を以て風紀其他の取締に任じてゐたが町內居住者も調査し各區に分ち同樣五年生をして監督に當らせる事となつた

平の實業補習を―公民學校と改稱
昨十八日付認可指令

平商校內の實業補習學校は十月より翌二月迄商店員其他の子弟に對し夜間指導をなして來たが豫て公民學校と改稱方縣へ認可申請中の處昨十八日付認可の指令あつた

山部春蠶良好

澁渡 三坂方部の春蠶は目下盛んに催青中で成績極めて良好で蠶家は大喜びであると

○○○○家遺族を調査 自動車協會で扶助

縣自動車協會では會員中の在滿兵士家族並に戰死者の遺族を扶助する事となり目下平支部で該當者を調査中であると

○○○大井川君凱旋

平町久保町大井川和郎君は明二十日午後三時十一分平着列車で凱旋する

○○○○豊間出身兵凱旋

豊間村出身高田山砲兵鈴木平吉君は十六日、同鈴木留雄君は十八日何れも午後三時五十三分平驛着で村民多數の歡迎を受けて歸村した

ニユース 各地情痴

△五十の破戒僧 岩瀨郡桁衛村大字檜田佐藤西藏方下女佐藤トシ(二六)は去る十四日同家裏の畑で仕事中後方で念佛を唱へてゐた白裝束の年齡五十歲位の旅僧が矢庭にトシに飛びかかり暴行を加へ全治二週間の裂傷を負はせた、須賀川署で犯人嚴探中であつたが十八日茨城縣久慈郡生瀨村字柳町前科十一犯大藤寅松(五六)を容疑者として同署に引致取調べ中

△斷髮女給は眞平よ 八幡市通町十三丁目カフェー永樂の斷髮女給田上ハツ子(一九)は泥醉の揚句中央區電車停留所東で進行中の電車めがけて飛び込み自殺を圖つたが救助網に救ひあげられ死を邪魔したとて運轉手に喰つてかかり八幡署に引致された、原因は男に棄てられてヤケを起した結果

△強盜強姦捕へらる 東京市外大崎町桐ケ谷五六九木內武平方田中喜太郎(二八)は京濱電車大森海岸停留所改札係宿直室に就寢中の改札係の松尾ます(一九)に日本刀をつきつけて脅迫し現金二十三錢を奪つた上暴行を加へ間もなく大森署員に逮捕された

△四十後家は立たぬ 滋賀縣甲賀郡朝宮村字下朝宮小倉ふじえ(四〇)が夫亡き空閨の寂しさから同村の辻本吉重郎と私通の結果男兒を生み落したが世間態を恥で産んだ其の場で嬰兒を壓死せしめた事件の公判は大津地方裁判所で懲役二年求刑

△別れるのはイヤ 東海道線岡崎安城間の下り線路に年若い男女の首と胴とを四ツにされた心中死體を通行人が發見、取調べると男は愛知縣碧海郡櫻井村鈴木佐平(三三)女は同村新谷はなへ(一九)と判明、原因は最近はなへが製絲工女になり別れるのを悲觀して

海軍記念陸上競技
第一校で開催

平第一小學校では二十七日の海軍記念日をトし午前八時より月次運動會を催すが種目次の如し

尋二以上紅白繼走、五年對六年繼走、職員バスケットボール、一年バスケツト、遊戲、五〇米、二年綱引、バスケット、五〇米、三年綱引、帽子取、四年帽子取、方形ドッチボール、二百米、五年大將帽子取、方形ドッチボール、二百米、高一二大將帽子取、方形、四百米

ロロロロロ平商校遠足會

今十九日午前八時から谷川瀨より綴方面へ

ロロロロロ世界館捷つ

白銀町チームの野球試合は昨十八日午後二時より第一校庭で行ひ六對四で世界館勝つた

平署管內種痘日割

平署管內の今年度定期種痘日割は此程左の如く決定し

△神谷二一、二二日△鹿島二〇日△永戶、箕輪一九、二〇、二一日△高久二三日△玉川二三日△平二五、二六日△小名濱二六、二七日△好間二七、二八日△平窪二七日

前借を苦に 姙娠と自殺の決意
女給の主人から搜索願

湯本町三函カフエーカスケード事直井ステ方女給平町新川町利德妹鈴木キヨ(二〇)は姙娠五ケ月の身と前借四十圓を苦に日夜煩悶して居たが昨十八日午後九時頃自殺する旨の遺書を殘して家出したので抱主から平署に搜索方を願ひ出

鈴木內閣成立の豫想顏觸れ

內務	鳩山一郎(內定)
外務	吉田茂 若は內田康哉
遞信	秦豊助
拓務	森恪(內定)
大藏	勝田主計
農林	山本悌二郎
文部	大谷尊由 若は近衞文麿
商工	前田米藏
司法	秋田清 若は川村竹治
陸軍	荒木貞夫 拒絶の場合は正木甚三郎
海軍	加藤寬治 若は岡田啓介
鐵道	秋田清 若は川村竹治
書記官長	松野鶴平
法制局長官	山崎達之助

(十九日三時入電)

腐つた果物類退治
傳染病發生等を前に 平署で一齊取締り執行

平町市場に最近林檎、バナナ、夏蜜柑其他の果實が出廻り初めたが中には店ざらしの腐敗果物も時折混入し傳染病の直接原因を醸す惧あるので平署では近く之等果實店の一齊檢査を行ひ傳染病防止に努めると

豊間濱薄漁
漁民些かテレ氣味

豊間村の各漁業家は近來潮流の關係から鰹の洄游が稍

艶罪黑白

◇花あがりから薔盆前へかけて花柳界の夏枯れ季節には一流どこでさへ往々お茶つびきをする事があるのだから二流三流どこの閑散おして知るべしだ◇處で女將が無暗矢鱈に三毛猫に當り散らすのみろがいやさに當面の生きる策として種々なる苦肉の戰法が用ひられる◇そこで附け込む町の不良中、老、年虎親たん〳〵として其の所謂藝妓のバーゲンデーの來るのを待ちかまへろ。今年もそろ〳〵その季節になつて來たので新田町邊の靈ふつは日に增し濃厚になつて行くとは世にも悲慘の極みである◇か。と思ふとX家の○ナだのY家の●ナなどは夙に海水浴のお仕度迄出來上つてしまつたと云ふから物凄げエもんだ。

平、綴間四錢の半切符で
無謀な少年の上京計劃
○○○○檢札で發見取手から逆送さる

平町某町武井友吉(一四)假名―は平驛から綴驛迄の半切符で一昨十七日午後一時二分發の上り列車に乘り込み懷中無一物で上京を企てたのを途中檢札で發見され同五時十七分取手驛で引き下され平驛へ逆送された

通話料減收
平局赤字に惱む

平郵便局管內の電話架設數は現在六百八十六口の一ケ月間に於ける市外通話料は平均二千二百圓內外で大正七八年好況當時の四百口一千五六百圓に比し割合上甚だしい減少である

○○○○特別農事傳習會

縣農事試驗場神谷分場では二十日午後一時から縣丁技師により挿秧及本田管理の特別傳習會を開催する

紫雲英 況好

郡下に於ける今年度紫雲英作況は比較的高温にして且つ降雨量少なかつた爲生育概して良好で平年作は確實と見られてゐる

三小學兒童日光へ

平町三小學校六年生並高等科の希望生徒は來月二、三の兩日日光中禪寺方面へ修學旅行を行ふ旨既報の如くだが水戶を經日光より電車二里徒步二里八町中禪寺一泊歸りは日光より白河、郡山經由の豫定で第一は笹我校長、鈴木水竹、瓜田、訓導六年生百九十五名、高等三名、第二は津田校長、熊谷、小松、松本、志賀、山森訓導六年生百六十名、第三は赤津校長、石田、矢代訓導百二十五名の一行であるが費用は高等三圓九十一錢、尋生二圓七十二錢であると、尚ほ該旅行に際し貧困の爲參加出來ぬ兒童が各校四名位宛あるので當局者は近く協議の結果保護者會費より補助して同行する筈

。。。。。傳染病發生一束

神谷村中神谷瀨戶一〇三箱崎源莇(六)はヂフテリア、高久村下高久前之內七七薬谷義長(五七)はチブスと判明昨十八日何れも隔離された

お稻何處?
子を殘され男から 其筋へ搜索願

箕輪村大字大利字西田八六榮壽妻稻川いね(三九)は去る四日午前十一時頃十才になる長女を殘して無斷家出したので榮壽から今十九日平署へ搜索方を願ひ出た

平署管內動員事務檢閱

二十七日午前九時から福島聯隊區司令部の山肩少佐に依り高久村小學校で執行される

平町慶弔錄

△出生 鍛冶町七宮城縣伊具郡丸森町 欠入下一三八 卷武男 二男昇

▲死亡 長橋町三九宮城縣宮城郡原町 苦竹町六〇 武田又助(三八)

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠

舊四月十五日 金曜 辛巳 赤口 建 婁宿 五月二十日

▲一白の人 勇猛は成功の進路を開たくするに至るの吉日▲二黑の人 內外共に間違ひの起り易き日常業を守るべし▲三碧の人 光を包みて才智に誇らざれば平安の保つ日▲四綠の人 岐路ありとも直進せば目的地に至る事早し▲五黄の人 小事たりとも油斷すな苦勞心配起り易き日▲六白の人 鳴りを靜めて敵の虛を突く職爭準備に宜し▲七赤の人 攻防共に慎重たるべき日臨機應變の處置吉▲八白の人 驕る平家のまつ路は悲し實業に且榮望か保て▲九紫の人 天佑を褒り思ふ事成就すべし精勵專一なり

御禮

愚息均儀今般朝鮮羅南第七十六聯隊へ入營ニ就テハ御多用中御見送リ被下且過分之御餞別ト歡送旗ニ至ルマデ御惠與ヲ賜リ難有奉深謝候略儀ナガラ以紙上御禮申上候 敬具

五月十九日 平三丁目 山田忠太郎

難波醫院

内科 一般

醫學博士 難波睦

平町大町新川端(電話五〇二番)

めそ丼 金參拾錢
大衆向うな丼 金參拾五錢
特上丼 金五拾錢
蒲燒(一人前) 金五十錢

右弊店特々の勉强振り御試食の程を御願申上升

江戶川うなぎ食堂

平舘前通り 電話六七七番

藤沼醫院

內科 小兒科 花柳病科 入院應需

平町紺屋町 電話平長五〇七番